

「LIFE」年間のカリキュラムデザイン

学 年	中学校1年	時間数	70時間
テーマ	学び方を学ぶ - 情報処理能力と自己表現能力の育成をめざして -		
キーワード	情報リテラシー コンピュータ 探究活動 ホームページ制作		
概 要	LIFE では、自己学習力の基盤となる「学ぶ方法」を学ぶことと、「探究的な態度」を育むことを目標とする。これらの目標を達成するために学びを豊かにする道具としてのコンピュータやネットワークの活用を行い、情報処理能力、表現力の育成を行う。1学期はコンピュータを表現・探究の道具として活用するための基礎的な技術およびまとめ方の学習、2学期は1学期に学んだことを応用しての探究活動および相互発表・相互評価活動、3学期はこれまでの活動を振り返り各自の到達度について自己評価活動を中心に展開する。		

1. 学習の目標・ねらい

中学校・高等学校6カ年の総合的な学習の第1段階である中学校1年生のLIFE「学び方を学ぶ」では、自己学習力の基盤となる「学ぶ方法」を学ぶことと、「探究的な態度」を育むことを目標とする。「学ぶ方法」とは、情報の集め方、まとめ方、表現の仕方などのスキルを身につけることである。「探究的な態度」を育むとは、多面的なものの見方や捉え方を培い、自ら課題を見つけ、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決しようとする姿勢を養うことである。これらの目標を達成するために、学びを豊かにする道具としてコンピュータとそのネットワークを有効に活用する学習活動を展開する。

具体的には、コンピュータを表現や情報収集、分析などの道具として活用できる情報リテラシーを育成を行ったり、探究活動に対してわかりやすく表や図および概念図を利用した表現活動を行ったり、自己評価と相互評価を効果的に組み込むことで新たな課題設定を行う助力としたりするなかで視野の拡大や興味・関心の高まりを目指した展開を行う。

2. 育まれる能力

(1) ワープロや表計算、ホームページ作成やインターネット検索など、コンピュータを活用する基礎的能力。および学びや表現の道具として、コンピュータやネットワークを活用する能力。

第3章 LIFE のカリキュラムの実際

- (2) 情報を収集し、分析する力。論理立てて思考する能力。
- (3) 興味・関心を高め、自ら課題を見つけ、よりよく解決しようとする自己教育力。
- (4) 他者の研究に適切にアドバイスしたり、自らの活動を振り返り適切に評価をする力。

3. 評価の観点

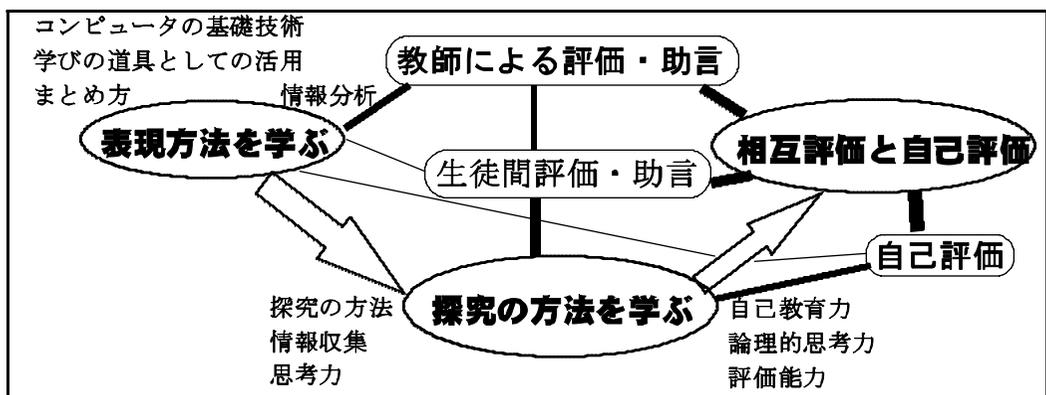
育まれる能力を基に、L I F E の評価の観点を以表の4点に設定し、それぞれの観点に従った評価項目をそれぞれの学習段階で設定し評価活動を行う。

情報処理技術・能力	表現技術・能力	意欲・関心・態度	内容・思考・判断
<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの基本操作、ワープロ・表計算の利用、図やホームページの作成、ネチケットの理解などの基礎技術を習得したか ・情報の取捨選択をしたか ・データの分析を適切にしたか ・概念図などで内容を適切にまとめることができたか 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章、絵、グラフなどを有効に活用したか ・わかりやすいか ・読み手を意識しているか ・個性的か ・問題解決のプロセスが明確に示されたか ・引用部分と本人の考えなどが区別できているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に取り組んだか ・主体的な活動か ・楽しんで活動しているか ・評価活動に積極的に参加しているか ・自己で満足できるか ・自分の学びを振り返り、自信が強まったか 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で課題を見つけられたか ・課題の設定が明確か ・深く掘り下げられているか ・論理的にまとまっているか ・内容に適しているか ・学習方法（問題解決のプロセス）が習得できたか

4. 評価の方法

上記観点に従い以下のような評価活動を各学習段階で行う。

- (1) 教師による評価（生徒のチェックシートの確認・評価、日頃の活動過程の評価・助言、課題物の評価・助言[校内LANで公開し、多くの教員から評価を受ける]）
- (2) 生徒の自己評価（チェックシートによる達成度評価、意欲・関心の評価、活動の記録を振り返り成果や課題を考えるポートフォリオ評価）
- (3) 発表会や、掲示板を利用した相互評価（この際、新たな課題や問題の解決に向けた助言も合わせて行う。）



第3章 LIFE のカリキュラムの実際

5. 年間指導計画 (70時間扱い)

月	単元名	学習のテーマ・ねらい	学習の具体的な内容
4	1. 表現の方法を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・表現の基礎としてのワープロ操作や作図など一連のスキルの習得をはかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワープロ操作の基礎 文章入力、変換、レイアウト、保存、印刷など。
5		<ul style="list-style-type: none"> ・まとめ方の方法として箇条書きや概念図で表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題文を良く読み、その要約を箇条書きにしたり、キーワードを抽出して概念図にする。
6		<ul style="list-style-type: none"> ・各自別々の本を選び、その本を課題本としてまとめ方、表現活動を行う。(入力する文章や探究する題材が、各自が興味を持って選んだ本をもとにしているということを出発点とすることで、生徒の興味・関心を高め、本の個性的な紹介やより深い感想などを作成・表現させ、互いに公開し表現力・構成力の育成を目指す)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「科学のアルバム」シリーズから、興味を持った本を1冊選び、その中の文章を題材に、文章入力と絵の作成・挿入を行う。 ・上記の本の紹介や感想の作成。
7		<ul style="list-style-type: none"> ・表計算ソフトの基礎 	<ul style="list-style-type: none"> ・上記の本(テーマ)にどのように(なぜ)興味を持ったか。本を読んで新たにわかったことや興味を持ったこと、感想などをまとめる。
8		<ul style="list-style-type: none"> ・表計算ソフトを活用して、分析能力や表現能力を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・上記の本の紹介や感想の作成。 ・その本(テーマ)にどのように(なぜ)興味を持ったか。本を読んで新たにわかったことや興味を持ったこと、感想などをまとめる。
9		<ul style="list-style-type: none"> ・表計算ソフトの基礎 	<ul style="list-style-type: none"> ・表計算ソフトの基本的操作技術の習得。
10		<ul style="list-style-type: none"> ・表計算ソフトを活用して、分析能力や表現能力を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・データ処理と分析 理科年表や地図帳のデータを整理、分析、比較しそのなかから各自の発見をまとめさせる。また、各自のテーマに即したデータをグラフ化するなど、分析力や表現力を深める。
11		<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ形式でまとめ、公開していくことで、表現力のさらなる育成をはかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・上記の本についての感想と本の紹介および、これから調べたいことなどをまとめホームページの形式で互いに公開する。
12		2. 探究の方法を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・各自のテーマに関連して、さらに詳しく課題を設定し、調べ学習を行う。 ・表現の道具、また調べ学習の

		<p>手段などの学びの道具としてのコンピュータの活用をはかる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究内容を概念図の形でまとめ、概要をわかりやすく表現する。 ・中間発表では、それぞれのテーマについて、「こんなおもしろいことがある」「これについて教えて」などの意見交換する中で関心を高めるとともに、調べ学習の課題を明確にしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各自のホームページに調べたことなどを追加し、より広く深いものを作り上げていく。
10		<ul style="list-style-type: none"> ・中間発表では、それぞれのテーマについて、「こんなおもしろいことがある」「これについて教えて」などの意見交換する中で関心を高めるとともに、調べ学習の課題を明確にしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・探究活動の中間発表 ホームページの掲示板機能を活用し、互いに意見交換を行う中で、さらに詳しく調べる課題を見つける。
11		<ul style="list-style-type: none"> ・研究をすすめる手順や発表方法を学ぶなかで、探究能力を育成し、自ら課題を見つけていく力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換を参考に、それぞれのテーマをさらに深く調べていく。この際、図書館やインターネットの活用をはかる。
12			<ul style="list-style-type: none"> ・さらに研究をすすめ、その内容をホームページにまとめ公開する。その際、研究目的（課題）、調べた結果、残った課題（疑問点）、参考文献等を明記する。
1	3 . 相互評価と自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の観点を明確にして互いに相互評価をする中で、各自の研究を振り返り自己評価につなげ、メタ認知的な視点を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究発表会を開き、質疑応答で意見交換を行う。
2		<ul style="list-style-type: none"> ・課題を深め、探究活動の成果としてレポート(ホームページ)をまとめる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの掲示板機能を利用して、相互評価を行う。 ・意見交換や相互評価から、各自の研究の成果や、残された課題などを整理する。
3		<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの各自の課題を振り返り、それぞれの成長を評価し、自ら課題を持って学んでいく姿勢を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの成果はデータとしてコンピュータに保存されている。これらを振り返り、コンピュータで何ができるか。どのような利点があったかなどを振り返る。